

登録コード	EKE09900	開講年度	2026			
授業科目	学校における学習の心理過程				担当教員	島田 英昭
英文授業名	Educational Psychology				副担当	
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・2時限	履修学年
講義室	教育N104講義室		授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー 該当						
(1)【授業の達成目標】	【授業で得られる「学位授与の方針」】			【授業の達成目標】		
	26EAカリ、25EAカリ、24EAカリ					
	教育の専門職としての学識・技能				学習の心理過程に対する理解を通して、教育の専門職としての学識・技能を身につける。	
	24EAカリ					
	教育現場の諸課題の背景にある関係構造に気づく視点				学習の心理過程に対する理解を通して、教育現場の諸課題の背景にある関係構造に気づく視点を身につける。	
	26EAカリ、25EAカリ、24EAカリ					
	子どもの多様なニーズへの対応力				学習の心理過程に対する理解を通して、子どもの多様なニーズへの対応力を身につける。	
	24EAカリ					
	協働的な問題解決を可能にする人間関係構築力				学習の心理過程に対する理解を通して、協働的な問題解決を可能にする人間関係構築力を身につける。	
	既存の枠組みを超える柔軟な発想力と深い省察力				学習の心理過程に対する理解を通して、既存の枠組みを超える柔軟な発想力と深い省察力を身につける。	
	社会の一員である教員として生きる意志と倫理観				学習の心理過程に対する理解を通して、社会の一員である教員として生きる意志と倫理観を身につける。	
(2)授業の概要	はじめに、教育心理学における問題設定の枠組みを講義する。次に、その枠組みに基づいて受講生が自身の教育実践の事例を報告する。それらの報告に対して、優れている点・問題点・改善点等の抽出、新たな授業・教材開発の方法等を議論する。					
(3)授業計画	第1回：教育心理学における問題設定の枠組み 第2回：「数学なんて将来必要ないから勉強しない」と言う子ども - 動機づけ（自己決定、達成目標） 第3回：英単語をたくさん書くだけで勉強した気になる子ども - 学習方略、メタ認知、信念、自己調整 第4回：し忘れ、し損ないが多い子ども - 注意、ワーキングメモリ、ヒューマンエラー 第5回：スマホでSNSにハマる子ども - 嗜癖（依存）、対人認知、メディア認知 第6回：プログラミング教育を充実させたい先生 - 態度、思考（論理性）、転移（応用力） 第7回：道徳性を正しく評価したい先生 - 構成概念、測定、信頼性・妥当性 授業の進め方についての注意事項 ○第2回以降は受講生の興味・関心に応じて変更するため、例として挙げた。 ○外部実習等により欠席する場合には、担当教員が相談を受け、指示を行う。 ○授業アンケートを実施する。 授業に関するお願い ○授業で得られた学習データを、教育、研究、広報の目的で利用することがあります。データは匿名で扱います。学術論文等、外部で発表することがあります。了承できない場合には個別に連絡をお願いします。了承しないことによる成績への影響は一切ありません。 ○教育、研究、広報の目的で、ビデオ、写真撮影を行うことがあります。ビデオ、写真を外部に公表する可能性があります。了承できない場合には個別に連絡をお願いします。了承しないことによる成績への影響は一切ありません。 ○心理学関係の実験・調査への協力をお願いすることがあります。また、実験・調査に参加し結果を知ることの教育効果に対し、コースクレジットとして成績評価に参入することがあります。詳細は依頼時に説明します。依頼は拒否することが可能であり、参加しないことにより成績評価が不利になることがないように運用します。					
(4)成績評価の方法	●以下を総合して判定する。 発表（50%）、議論への参加（50%） 評価割合は若干の調整を行うことがある。 学校における学習の心理過程に関する基礎的・応用的な知識や関心を評価する。 ●得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。					
(5)履修上の注意	議論に積極的に参加すること					
(6)質問,相談への対応および連絡先	原則としてメールで対応する。連絡先はeALPSを参照する。					
(7)成績評価の基準	【卓越している】学習の心理過程に対する理解について、極めて高い水準にある。 【かなり上にある】学習の心理過程に対する理解について、非常に高い水準にある。 【やや上にある】学習の心理過程に対する理解について、高い水準にある。 【その水準にある】学習の心理過程に対する理解について、一定水準にある。					
(8)事前事後学習の内容について	●授業時間以外の自習が必要である。授業内容の情報収集、現場展開への考察について、予習・復習をする。 ●この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って、30時間以上の時間外学習が必要となります。					

【教科書】	指定しない。
【参考書】	内容に応じて随時紹介する。